



田川光照 教授

◆経 歴

- | | |
|----------|--|
| 昭和48年 3月 | 名古屋大学文学部仏文学科卒業 |
| 昭和53年 3月 | 名古屋大学文学研究科仏文学専攻博士課程後期課程中退 |
| 昭和53年 4月 | 愛知大学教養部専任講師（フランス語担当）（昭和61年 3月まで） |
| 昭和61年 4月 | 愛知大学教養部助教授（フランス語担当）（平成 9年 3月まで） |
| 平成 9年 4月 | 愛知大学教養部教授（フランス語担当）（平成10年 3月まで） |
| 平成10年 4月 | 愛知大学経営学部教授（フランス語担当，平成18年 4月より韓国・朝鮮語も担当）（現在に至る） |
| 平成16年 6月 | 日本フランス語フランス文学会広報委員長（平成18年 5月まで） |
| 平成21年 4月 | 愛知大学言語学談話会代表（現在に至る） |

教育研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌又は 発表学会等の名称
(著書)			
1. 『フランスブラックユーモア選』	共編著	昭和56年 3月	ユニテ
2. 『フランセ・ファスイル』	共著	平成 9年 4月	ユニテ
3. 『フランセ・ファスイル 第2版』	共著	平成12年 4月	ユニテ
4. 『ひとはなぜ暴力をふるうのか』	共著	平成15年12月	梓出版社
5. 『続 ひとはなぜ暴力を振るうのか』	共著	平成22年 3月	梓出版社
(学術論文)			
1. 「『オクステイエレン、あるいは放蕩の不幸』劇作家としてのサド」	単著	昭和54年 3月	名古屋大学仏文学研究室「山川教授退官記念論集」
2. 「サドにおける想像力」	単著	昭和55年 1月	愛知大学文学会「文学論叢」第63輯
3. 「『ソドム120日』における演劇的構成について」	単著	昭和57年 3月	愛知大学文学会「文学論叢」第69輯
4. 「サドとレチフの対立：『新ジュスチヌ』と『アンチ＝ジュスチヌ』 その1」	単著	昭和60年12月	愛知大学文学会「文学論叢」第80輯
5. 「サドとレチフの対立：『新ジュスチヌ』と『アンチ＝ジュスチヌ』 その2」	単著	昭和61年 3月	愛知大学文学会「文学論叢」第80輯
6. 「Dictionnaire du français non conventionnel における若干の問題」	単著	昭和61年 3月	「愛知大学外国語研究室報」第10号
7. 「サドとレチフの対立『ジュスチヌ』と『アンチ＝ジュスチヌ』 その3」	単著	昭和62年 3月	愛知大学文学会「文学論叢」第82・83輯
8. 「サドとレチフの対立『ジュスチヌ』と『アンチ＝ジュスチヌ』 その4」	単著	昭和62年12月	愛知大学文学会「文学論叢」第86輯
9. 「1989年のサド」	単著	平成 2年 3月	愛知大学文学会「文学論叢」第93輯
10. « Une lecture de Mauprat de George Sand: à la recherche de l'identité perdue »	単著	平成 4年 3月	「愛知大学研究室報」第16号
11. 「サド研究の現在」	単著	平成 4年 7月	愛知大学文学会「文学論叢」第100輯
12. 「サドとジャンヌ・テスタル事件」	単著	平成 4年10月	愛知大学文学会「文学論叢」第101輯
13. 「胡椒商人に感謝される作家——サドの『小説論』におけるレチフ攻撃の一節をめぐって」	単著	平成 5年 7月	愛知大学文学会「文学論叢」第103輯
14. 「ラ・コストの城主サド」	単著	平成 6年 3月	名古屋大学仏文学研究室「神沢栄三教授退官記念論集」
15. 「サドの政治パンフレットにおける〈mandataire〉について」	単著	平成11年 3月	愛知大学外国語研究室「外語研紀要」第27号

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌又は発表学会等の名称
16. 「想像力と火山—サドのリベルタンたちはなぜ閉じこもるのか— (その1)」	単著	平成12年12月	愛知大学語学教育研究室「言語と文化」第4号
17. 「フランス革命期に議員の意味で用いられた〈mandataire〉をめぐって」	単著	平成13年6月	愛知大学言語学談話会編『ことばを考える 4』あるむ
18. 「想像力と火山—サドのリベルタンたちはなぜ閉じこもるのか— (その2)」	単著	平成14年2月	愛知大学語学教育研究室「言語と文化」第6号
19. 「李外秀『勲章』について—父親との葛藤」	単著	平成17年7月	愛知大学語学教育研究室「言語と文化」第13号
20. (研究ノート)「韓国語における三子音の法則—フランス語を通して見た韓国語」	単著	平成17年7月	愛知大学語学教育研究室「言語と文化」第13号
21. 「フランス語改革論者レチフ・ド・ラ・ブルトンヌ」	単著	平成18年7月	愛知大学言語学談話会編『ことばを考える 5』あるむ
22. 「Le Petit Prince の日本語訳と韓国語訳をめぐって—内藤濯訳と安應烈訳を中心に—」	単著	平成18年11月	韓国日本文化学会『日本文化学報』第31輯
23. 「胡椒商人が感謝する作家とは?—サド侯爵によるレチフ批判の名言をめぐって」	単著	平成22年5月	愛知大学言語学談話会編『ことばを考える 6』あるむ
24. 「李外秀『夢見る植物』について」	単著	平成27年3月	愛知大学言語学談話会編『ことばを考える 7』あるむ
(書評等)			
1. (紹介文)「サドは共和主義者か、日和見主義者か」	単著	平成4年4月	岩波書店「文学」季刊第3巻第2号
2. (紹介文)「梅原北明と丸木砂土のこと—我が国における昭和初期のサド紹介をめぐって—」	単著	平成6年11月	愛知大学フランス文学会「PLEU-PLEU」VI
3. (書評)「秋吉良人『サドにおける言葉と物』」	単著	平成14年6月	「日本18世紀学会年報」第17号
4. (書評)「秋吉良人『サド—切断と衝突の哲学』」	単著	平成20年3月	「図書新聞」2860号(2008年3月1日号)
5. (報告)「外国語授業でのiPhoneとiPadの利用」	単著	平成25年3月	愛知大学情報メディアセンター『COM』第38号
6. (書評)「熊沢一衛著『フランス文学と死生観』」	単著	平成26年12月	日本フランス語フランス文学会中部支部「研究報告集」NO. 38
7. (書評)「マルキ・ド・サド著『閨房哲学』(人文書院〈関谷一彦訳)を読む」	単著	平成27年6月	「図書新聞」3209号(2015年6月6日号)
(翻訳)			
1. サドの政治パンフレット2編	単訳	昭和63年3月	愛知大学文学会「文学論叢」第87輯
2. モニク・ルバイイ編『ギロチンの祭典 死刑執行人から見たフランス革命』	共訳	平成元年12月	ユニテ

著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌又は 発表学会等の名称
3. ドクター・カバネス『鞭と梅毒 ヨーロッパの一裏面史』	共訳	平成2年12月	ユニテ
4. ドクター・カバネス『衛生博覧会』	共訳	平成4年4月	ユニテ
5. ピエール・ダルモン『ロデスのうわさ 19世紀フランスの一大まやかし裁判』	単訳	平成5年3月	新評論
6. ディディエ・ヌリッソン『酒飲みの社会史 19世紀フランスにおけるアル中とアル中防止運動』	共訳	平成8年1月	ユニテ
7. サドの政治パンフレット4編	単訳	平成9年3月	愛知大学外国語研究室「外語研紀要」第23号
8. ピエール・ダルモン『癌の歴史』	共訳	平成9年11月	新評論
9. サドの政治パンフレット5編	単訳	平成11年9月	愛知大学語学教育研究室「言語と文化」第1号
10. ピエール・ダルモン『人と細菌』	共訳	平成17年10月	藤原書店
11. ミシェル・ヴィヴィオルカ『暴力』	単訳	平成19年11月	新評論